熊本市立植木北中学校学校だより　第２０号

日　進　月　歩

令和７年 10 月１日（水）
校長　坂本正二
「可能性は無限大（∞）」
植木北中 HP→

心をひとつに～生徒会選挙より～

9月24日（水）に生徒会役員選挙の立会演説会と投票が行われました。今回は、会長・副会長・書記の役職に8人の生徒が立候補し、それぞれ推薦者と一緒に演説をしてくれました。演説では、何度も原稿を練り直し、話す練習を重ねてきた努力が伝わる素晴らしい内容ばかりでした。「笑顔を大切にしたい」「明るい挨拶を広めたい」「楽しい行事を企画したい」「先輩たちの伝統を受け継ぎたい」など、候補者一人ひとりの思いがしっかりと伝わってきました。推薦者を含めると、合計16人が発表を行い、会場は真剣な空気に包まれていました。聞いている生徒も集中して耳を傾けており、学校全体が選挙に向き合っている様子が印象的でした。投票の結果、5人が新しい生徒会役員として選ばれました。惜しくも落選した3人も、学校のことを真剣に考え、立候補してくれたことに感謝しています。今後もその熱意を活かして、学校のために活躍してくれることを期待しています。当選した5人には、投票してくれた仲間の思いを胸に、生徒会活動の中心となって学校をより良くしていってほしいと思います。

支える力、広がる可能性
～選挙活動を通しての成長～

約 2 週間、生徒会役員選挙に向けた選挙活動が行われました。この期間、立候補した生徒だけでなく、推薦者としてサポートした 8 人の生徒たちも大活躍しました。推薦者は、毎朝校門に立って元気いっぱいに応援したり、放送や演説会で候補者の魅力や意欲を伝えるために一生懸命に応援演説を行ったりしました。その姿からは、候補者を支えたいという強い気持ちが伝わってきました。活動を通して、推薦者の生徒にもさまざまな気づきがありました。例えば、「普段は協力的な友達が、自分の考えをしっかりと声に出して伝える姿を見て、新たな一面を知ることができた」「候補者が安心して演説できるように、原稿づくりや練習のサポートなど、裏方の役割がとても大切だと感じた」といった声がありました。また、「自分も立候補してみたかった」と思った生徒もいて、その前向きな気持ちがとても頼もしく感じられました。推薦者として活動した8人は、本当に素晴らしい働きをしてくれました。選挙は終わりましたが、これからも学校の様々な場面で人を支えたり、今度は自分自身が前に立って活躍したりすることを期待しています。この経験が、みんなの成長につながっていくことを願っています。

めざせ満点！～学習王決定戦 10/6（月）～

来週の月曜日に「学習王決定戦」が開催されます。このイベントは、毎日の学習習慣を身につけ、学ぶことの達成感を味わうことで、もっと勉強したいという気持ちを育てることを目的としています。今回のテストは、全国 47 都道府県とその県庁所在地に関する問題で、全学年共通の内容です。子どもたちが休み時間などに気軽に勉強できるよう、問題は教室のドアや廊下に掲示されています。答えは、さいたま市以外すべて漢字で書く必要があるため、しっかり書いて覚える練習が大切です。満点を目指して、「学習王」の称号を手に入れてほしいと思います！

しかモン登場！
～３年生高校等説明会～

9月11日・12日に、3年生を対象とした「校内高校等説明会」が行われました。県内の公立・私立高校、そして自衛隊の方々が来校し、それぞれの学校について詳しく説明してくださいました。オープンスクールとは異なり、今回は自分の志望校以外の話も聞ける貴重な機会となりました。説明を聞いたことで「今まで考えていなかった学校に興味を持ち、進路の選択肢に加えた」という生徒もいます。こうした経験は、進路選択でとても参考になります。また、鹿本高校の PR では、マスコットキャラクター「しかモン」も登場し、会場を盛り上げてくれました。3 年生は、10 月末に共通テストを控え、いよいよ進路決定に向けて大切な時期に入ります。自分の目標に向かって、しっかり準備を進めていってほしいと思います。